

## 根研究会シンポジウム・根研究集会に参加して

松本直也

東京大学大学院農学生命科学研究科

今回は初めて根研究会のシンポジウム、そして根研究集会に参加させていただきました。初めてということで少し緊張していたのですが非常に勉強になり有意義な時間が過ぎたと思います。まず、この2日間のシンポジウムと研究集会を通して、「根」というと非常に限られた分野の様に感じられる面もありますが、その研究には非常に様々なアプローチがあり、それだけ「根」という器官が植物において大事であるのだという事を感じました。まだまだ勉強不足で少し難しい話もあったのですが、今日の研究の最先端に触れられ、視野を広げることができたと思います。

シンポジウム、研究集会の口頭発表、研究会賞受賞講演のいずれにおいても丁寧に、分かりやすく発表をされており、それに対してすべての人が真剣に聞き、考え、そして意見を交わしている様子に感心しました。本当にさまざまな分野の研究者の方々がいらっしやっただけ、いろいろな角度からそれぞれの研究を考えており、お互いがそれぞれ励みになるのだと感じました。まったく違うような分野の人たちが「根」という共通点を元に集まっているということで非常に興味深く思いました。ポスター発表においても皆さんがきれいで分かりやすいものを作って発表しており、質問にも丁寧に答えてくださり、理解を深めることができました。このポスター発表においてもそれぞれのポスターの前で熱い

議論が交わされていました。また、研究集会において口頭発表をさせていただいたのですが、拙い発表にも関わらず皆さん真剣に聞いて、数多くの質問をして下さったので、今後研究を続けていくうえで非常に参考になりました。まだまだ自分でも分からない部分が多く、発表も分かりにくかったところもあったと思いますが、それに対し多くの質問、意見があったということは多少なりとも興味を抱いていただいたということなので今後の研究をさらに頑張っていく励みにもなりました。

また、1日目の夜には懇親会に参加させていただき、非常に気さくな先生方や学生の方とお話することができ、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。シンポジウムや研究集会における真剣で真面目な雰囲気とは違い、非常に打ち解けた感じだったので、初めて参加する者にとっても気が楽で自然に和むことができました。このような場でいろいろな人と話ができるということは研究の幅を広げる上でも重要であり、お互いの刺激にもなると思います。

今回の根研究会シンポジウム、根研究集会では多くの刺激を受け、非常に勉強になりました。来年は国際シンポジウムがあるということでより広い分野から、より多くの方が世界中から集まると思うので、もっと勉強しより有意義な時間を過ごせるようにしたいと思います。